



「志五中だより」

～響き合う学びのエリア 志五中・舟渡小ブロック～

- 【教育目標】
- ・自ら考え行動し 進んで学ぶ人
 - ・思いやりの心もち 社会に貢献できる人
 - ・豊かな情操と体力をはぐくみ 心身ともに健康な人

令和7年度 第7号
令和7年10月21日発行
板橋区立志村第五中学校
校長 溝口 千里

「2人で考えればなんとかなる」

今秋、ノーベル生理学・医学賞を受賞した大阪大学の坂口志文（しもん）特任教授と、その妻であり共同研究者でもある教子さんが、会見の中で印象的な言葉を口にしました。

✚ 「2人で考えればなんとかなる」

科学の最先端に立つ研究者の言葉ではありますが、このフレーズには、学びや日常生活にも通じる大切な本質が含まれているように思います。



板橋区立学校での授業では、「自力解決→集団解決」という学びの流れがスタンダードになっています。まずは自分で考える時間を大切に、そのうえで仲間と意見を交わす。これによって、一人ではたどり着けなかった考えや発想に出会えるという学びの在り方です。

最近では、このプロセスの中間に「他者参照」という段階を意識的に取り入れる授業も多くなりました。「自分で考える」とことと「グループで話し合う」ことの間に、他の人の意見を参考にする時間を設けることで、より深い思考を促すことができます。ただし、ここには注意も必要です。最初から他人の意見を頼りにしてしまうと、自分の頭で考える力は育ちににくくなります。自力思考の時間をしっかりと確保し、そこから他者の考えに触れることで、はじめて多様な意見が刺激となり、自分の考えを発展させることができるのです。

坂口教授ご夫妻の言葉は、こうした学びの流れの大切さを改めて思い起こさせてくれま

す。「一人で考えること」には限界がありますが、「二人で」「仲間と」考えることで、ひらめきや新しい視点が生まれる。これは科学の世界だけでなく、日々の授業や生活の中でも同じことが言えるでしょう。

ここで、授業中のちょっとした場面を思い浮かべてみましょう。疑問に思ったことを先生に質問するとき、1対1で質問をすると緊張したり、頭が真っ白になってしまったりすることがあります。そんなとき、私がおすすめしたいのは「友だちと一緒に質問する」あるいは「友だちが質問しているときに首を突っ込む」ことです。

1対1のやりとりでは、相手の話に集中しながら自分の考えも整理しなければならず、脳への負担が大きくなりがちです。一方、複数人でのやりとりでは、一時的に聞き役に回ることもでき、脳が休憩する余裕が生まれます。この「余白」が、理解を深めたり、頭の中を整理したり、新しいひらめきを生んだりする時間になるのです。

「2人で考えればなんとかなる」という言葉は、協働の力を端的に表しています。自分一人で抱え込むのではなく、他者と関わることで道が開ける——これは学びに限らず、人生のいろいろな場面にも当てはまることです。

本校でも、日々の授業や学校生活の中で、友だちと関わりながら一歩ずつ成長していく姿が多く見られます。これからも、自力で考える力を大切にしながら、仲間との協働によってさらに豊かな学びを育んでいきましょう。



◆ 行事の秋！

✓ 7年生 富士見高原移動教室(10月1日～3日)

7年生の移動教室が行われました。初日はスプーンづくりのクラフト活動や、野外炊事でのカレーライスづくり。2日めは車山登山と八島湿原散策、3日めは農業実践大学校で炭焼き・野菜・酪農・養鶏・林業・チーズやバター・ジャムづくりなどの体験を行いました。協力しながら多くの体験を重ねた3日間となりました。



✓ 8年生 職場体験(10月15日～17日)

8年生は地域の事業所で職場体験を行いました。9月の事前訪問を経て迎えた本番では、それぞれが責任をもって仕事に取り組み、働くことの大切さや地域の方々の支えを実感する貴重な機会となりました。ご協力くださった地域の皆様に心より感謝申し上げます。



✓ 9年生 京都・奈良修学旅行(10月15日～17日)

初日は奈良公園と法隆寺の見学、2日めは京都市内班行動、3日めはタクシー行動という行程で実施されました。事前に設定したテーマに基づき、史跡や文化を熱心に調べる姿が多く見られました。学びと絆を深めた3日間となりました。



● 文化発表会(10月25日(土)午前8:45～、午後1:00～)

文化発表会〈舞台発表の部〉が開催されます。クラス合唱・学年合唱をはじめ、「広島・長崎平和の旅」学習発表、「マレーシア海外派遣」学習発表、地域の合唱団「コール民生いたばし」コーラス発表、演劇部・吹奏楽部の発表など、盛りだくさんの内容です。生徒たちの学びと努力の成果を、ぜひご覧ください。



● つながる保護者会(11月19日(水)10:40～11:40)

登校に不安がある、または不登校の生徒の保護者を対象に「つながる保護者会」を開催します。30日以上欠席・ほっとルーム利用・日常的にオンライン授業を受けている生徒の保護者にはご案内を配しますが、それ以外の方でも参加を希望される場合は養護教諭までご連絡ください。内容はスクールカウンセラーからの講話などを予定しています。

上記以外にも舟渡小6年生児童による授業参観、中間考査、生徒総会などもありました。日々の生徒の成長は学校ホームページでご覧ください。

【生徒の活躍の様子は学校ホームページ
(学校日記)をご覧ください】

<https://www.ita.ed.jp/1320134/weblog>

※右の二次元コードをスマートフォンで読み取るか、デジタルデータ上で左のURLをクリックしていただくと、学校ホームページをご覧いただけます。

